

JACCS 70th ANNIVERSARY

株主通信

第93期報告書

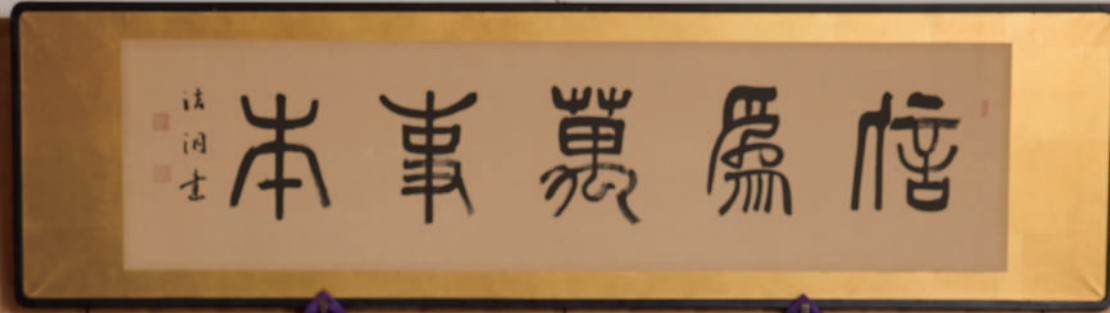
2023年4月1日～2024年3月31日

株式会社ジャックス

証券コード：8584



ごあいさつ



取締役社長(代表取締役)
COO
村上 亮



取締役会長(代表取締役)
CEO
山崎 徹



創立70周年を迎え、さらなる発展・躍進を目指してまいります

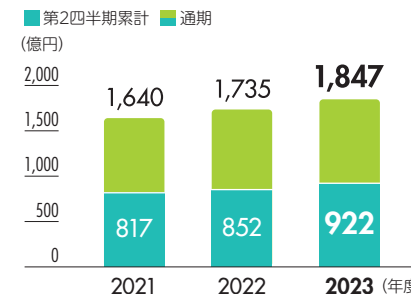
株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。当社は2024年6月に創立70周年を迎えることができました。これも、ひとえに皆様のお力添えのお陰です。心より感謝申し上げます。次のステージに向けて、着実に歩みを進めてまいります。今後とも皆様のご支援とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

第93期経営成績

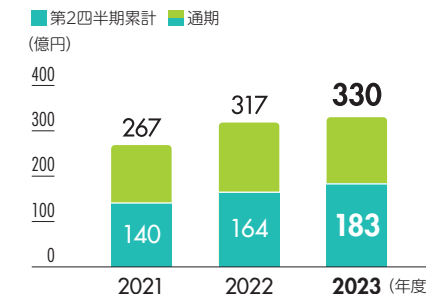
中期3カ年経営計画「MOVE 70」の2年目である第93期は、新型コロナウイルス感染症の分類が5類に移行されたことで、経済活動の正常化が一段と進み、国内では各事業戦略に基づいた施策を計画通りに実行することができました。また、市場環境の変化に対応するため、クレジット事業の一部加盟店で利上げを行うなど、収益基盤の強化に取り組みました。海外では、ベトナム経済の景気が低迷し、非常に厳しい事業展開となりましたが、その他の進出国では営業エリアの拡大や加盟店開拓に注力しました。その結果、連結営業収益は11期連続で増収となる1,847億円(前期比6.5%増)に、連結経常利益は330億円(同4.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は237億円(同9.8%増)と過去最高益を更新しました。

期末配当金は、普通配当110円と創立70周年記念配当10円を合わせて、1株当たり120円となりました。

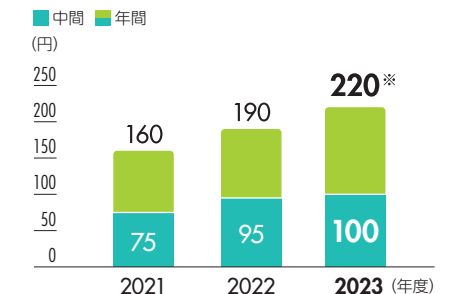
連結営業収益



連結経常利益



配当



第94期の見通し

今期は、「MOVE 70」の最終年度であるとともに、次期中期経営計画の準備期間として重要な1年になると認識しています。足下では、金融費用や貸倒関連費用などのコストが増加傾向にあり、これまでの2年間とは大きく状況が異なります。市場環境の変化に対応しながら、経営体質を強化していきます。また、「MOVE 70」で掲げた目指す姿の実現に向けて、各々の事業課題にスピードを上げて取り組むとともに、利便性の高い商品・サービスの提供に注力していきます。さらに、健康経営銘柄に初選定された前期に続き、より一層ESG経営を推進し、「MOVE 70」の総仕上げとして、企業価値の向上に取り組んでいきます。

第94期では、連結営業収益1,930億円(前期比4.4%増)、連結経常利益280億円(同15.3%減)を目指します。

株主還元については、1株当たり210円(中間100円、期末110円)の配当を予定しています。

つながる、ひろがる、JACCSの70年

ひろがる
利便性

信を万事の本と為す

信義はすべてのものごとの基本であると捉え、創業以来、消費者の皆様・お取引先の皆様との「信用」と「信頼」を第一に考え業務に取り組んでいます



デパート月賦事業を開始

1954年
クーポン券による
取次月賦販売システム事業の開始

業務の拡大

1959年
融資保証業務の開始
1972年
住宅ローンの取扱い開始
1976年
オートローンの取扱い開始



クレジットカードを発行

1981年
世界最大の免税店 (DFS) と提携し「DFSカード」を発行
1989年
国際カード「ジャックスVisaカード」・「ジャックスMastercard」発行開始
1991年
「ジャックスJCBカード」発行開始

お客様第一のサービスを展開

1997年
カードキャッシング金利を業界最低水準の18.00%へ引き下げ



スピーディで正確な 管理システムを構築

2001年
基幹システムJANETの稼働
顧客や売上情報の管理が高度化、与信精度が向上
2016年
JANETのバックアップセンターを構築
災害時の事業継続体制を確立



お客様の利便性向上

2002年
ジャックスカード会員向けサービス
「インターコムクラブ」の開始
2003年
Web申込システムをリリース
2023年
公式スマートフォンアプリ
「JACCSアプリ」をリリース

創業の精神「信為萬事本」



1950

1960

1970

1980

1990

2000

2010

2020

1973年 札幌証券取引所上場 (2016年上場廃止)
1976年 東京証券取引所第二部上場
1978年 東京証券取引所第一部へ指定替え

2008年 三菱東京UFJ銀行 (現・三菱UFJ銀行) の
持分法適用関連会社に

2022年 東京証券取引所プライム市場へ移行

ひろがる
エリア



函館にて創業

1954年 6月
デパート信用販売株式会社として事業を開始
1959年
北日本信用販売株式会社に社名変更
1976年
株式会社ジャックスに社名変更

東京に進出、全国へ展開

1972年
東京事務所を開設、営業地域の全国展開を開始
1975年
本部機能を東京へ移転
1994年
新本社ビル「恵比寿ネオナート」へ移転



海外 (ASEAN) への進出


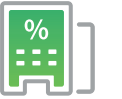



2010年 ベトナム
2012年 インドネシア
2016年 フィリピン
2017年 カンボジア



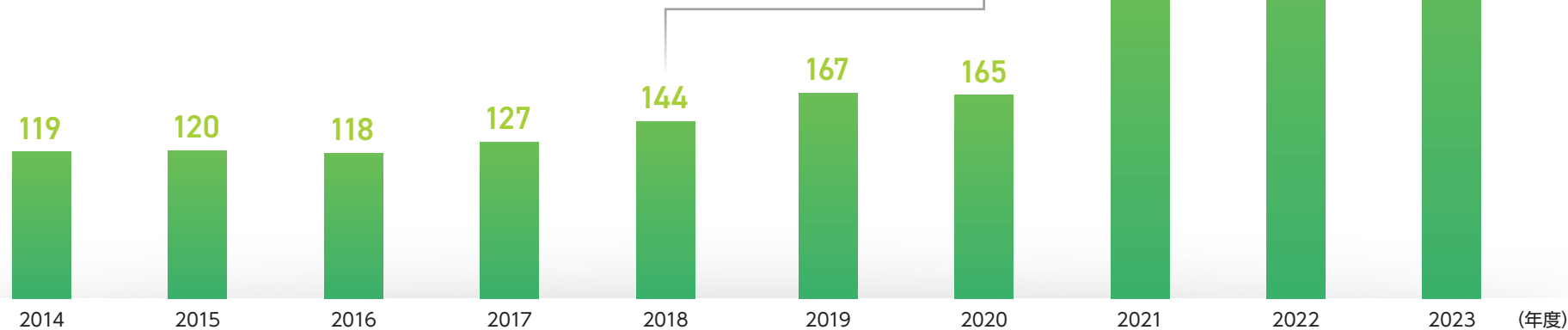
数字で見るジャックス

MUFGグループという基盤のもと、創業から続く堅実・健全な経営で着実な成長を遂げています。

業界トップクラスのスケール (単体実績)

ショッピングクレジット取扱高  5,982 億円 <small>(2023年度)</small>	住宅ローン保証残高  2兆7,090 億円 <small>(2024年3月31日現在)</small>	営業債権残高  7兆3,103 億円 <small>(2024年3月31日現在)</small>	オートローン取扱高  1兆923 億円 <small>(2023年度)</small>	クレジットカード会員数  623 万人 <small>(2024年3月31日現在)</small>
---	--	---	---	--

連結経常利益
10年の推移
(億円)



インドネシアにおいて
二輪車・四輪車ローンの取扱い増加

中期経営計画
「MOVE 70」始動

ファイナンス事業が
好調に推移

クレジット事業の
取扱高けん引

経営を支える人材・基盤

営業拠点 73 拠点 <small>(2024年4月1日現在)</small>	全社員における女性比率 女性 58.1% <small>(2024年4月1日現在)</small>	管理職における女性比率(課長職以上) 女性 17.8% <small>(2024年4月1日現在)</small>
--	--	---

安定した成長

営業収益 **11**期連続増収
(2013~2023年度)

経常利益 **3**期連続で過去最高益更新
(2021~2023年度)

配当 **15**期連続で増配または配当維持
(2009~2023年度)

ASEAN地域での事業展開

ASEAN **4**カ国

債権残高 (2023年12月31日現在)

ベトナム	288 億円 (2010年より進出)
インドネシア	671 億円 (2012年より進出)
フィリピン	157 億円 (2016年より進出)
カンボジア	107 億円 (2017年より進出)

MOVE 70 は最終年度へ

変化を恐れることなく事業戦略の取り組みを加速させます

「MOVE 70」の取り組みと進捗

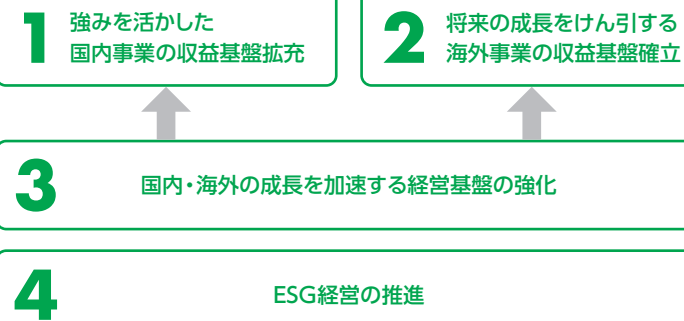
2024年度は中期3カ年経営計画「MOVE 70」の最終年度です。これまでの取り組みとして、国内事業では、営業基盤や取引基盤を活用しながら、マーケットニーズに応じた商品やサービスを提供し、収益基盤を拡充してきました。また、デジタル技術を活用して業務プロセスや働き方を最適化し、生産性の向上とコスト削減の実現を目指した全社的なDXを推進しています。

海外事業では、各国の情勢を踏まえた商品やサービスの拡充と営業エリアの拡大に努め、競争力をより一層高めています。さらに、AI・システムを活用することで与信精度の向上や債権管理体制の強化を図っています。

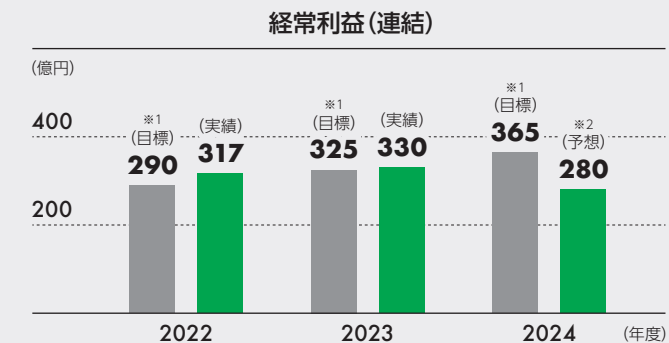
ESG経営の推進では、社会課題の解決に向けた取り組みを強化し、統合リスクマネジメントの確立と改善に努めながら、ガバナンスの高度化を図っています。

これらの取り組みをグループ丸となって実行してきた結果、経常利益は「MOVE 70」の計画を上回り、過去最高益を更新しています。また、「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」の一環で、2023年11月には連結配当性向の目標を30%から35%に修正しました。今後も安定した利益還元を実施できるように、持続的な成長と企業価値向上を目指して、事業戦略を着実に進めていきます。

「MOVE 70」4つのあるべき姿



目標と実績



※1 中期経営計画発表時(2022年5月)の目標値 ※2 2024年度業績予想は、2024年5月現在の予想

TOP INTERVIEW



環境変化を捉えた事業展開で

業績と企業価値の向上を目指し

ステークホルダーの皆様の

期待に応えていきます

代表取締役社長 COO
村上 亮

Q 中期経営計画「MOVE 70」の成果や変化を実感している施策について教えてください。

国内事業では「MOVE 70」で掲げた施策を着実に実施してきました。特に、お客様や加盟店様の利便性向上につながるサービスの展開を進め、最終年度に向けて弾みがついた1年になったと実感しています。また、成長市場への取り組みも強化しており、2024年3月にリリースした決済商品「ハウスPay」は、今後のカード・ペイメント事業の拡大につながる商品になると期待しています。一方、海外事業においては、各種施策は実行したものの、ベトナムやインドネシアの経済情勢の不確実性が高まり、想定した結果を残すことができませんでした。最終年度は、環境変化に応じた施策の展開と体制の強化を図りながら、業績向上に努めていきたいと考えています。

Q 最終年度で特に注力する取り組みを教えてください。

国内市場は、日銀のマイナス金利政策の解除が大きな転機となり、一段と厳しさを増す事業環境となることを見越しています。そのため、当社では昨年度から、クレジット事業の一部の業種で利上げを実施するなどの事業改革を行ってきました。今年度もこれらの改革を継続しながら、12期連続の増収を目指して各施策に取り組んでいきます。コスト面においては、債権残高の拡大に伴う貸倒コストやその他の販管費などが増加傾向にあり、非常に厳しい事業展開になることを想定しています。新たな収益源の創出とコスト構造改革を推し進め、計画達成に向けて取り組んでいきます。「MOVE 70」の最終年度は、新たな成長ステージを駆け上がるための準備期間と捉えて、しっかりと利益を上げ続けられる、より強靱な経営体質への仕上げを行っていきます。

連結決算ハイライト

損益状況 (各年度の4月1日～3月31日の1年間)	2022年度	2023年度
取扱高 (百万円)	5,641,393	5,853,833
営業収益 (百万円)	173,506	184,782
経常利益 (百万円)	31,769	33,060
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	21,651	23,770
配当金 (円)	190	220*

*創立70周年記念配当10円を含む。

キャッシュ・フロー (各年度の4月1日～3月31日の1年間)

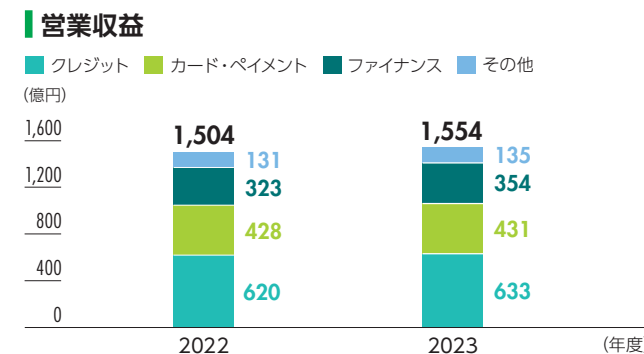
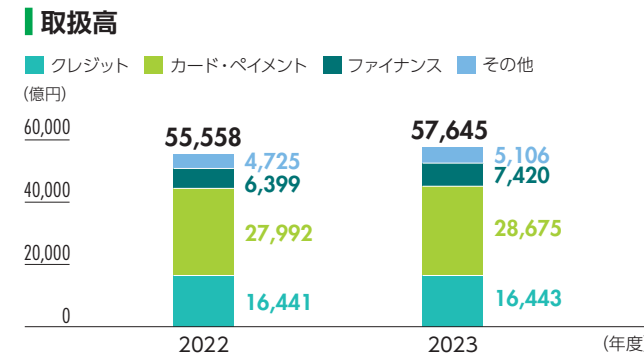
営業活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	△214,000	△98,024
投資活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	△8,161	△6,258
財務活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	246,060	129,021

財政状態 (各年度の3月31日時点)

総資産 (百万円)	3,575,732	3,777,595
純資産 (百万円)	210,605	238,440

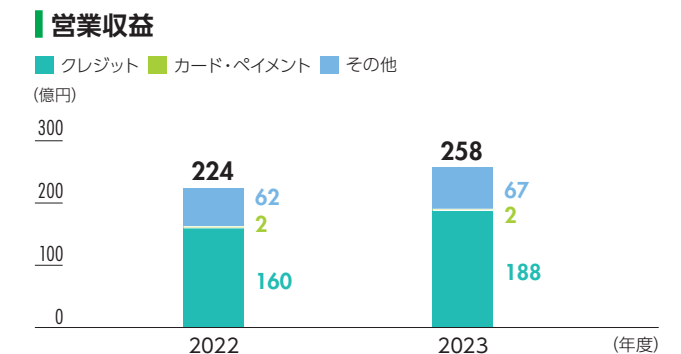
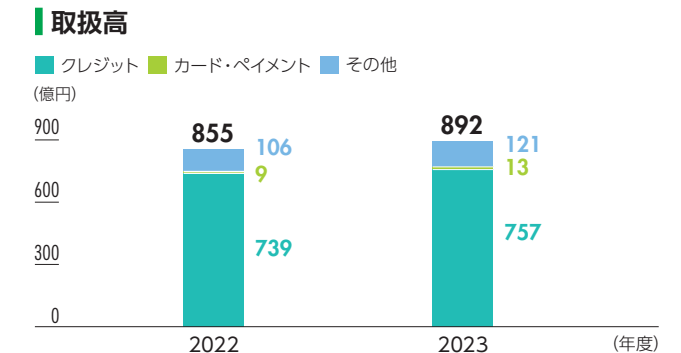
連結セグメント概況

国内事業



(注) 営業収益は金融収益を除いた事業収益を表示しております。

海外事業



POINT

国内事業

- クレジット事業は、各種施策の実行によりオートローンやメディカル等が堅調に推移。一方、利上げの影響で高級腕時計等の取扱いに減速感が強まり、さらに後払い決済サービスの終了に伴い取扱高が横ばいで推移。営業収益は、割賦利益繰延残高の積み上げにより増加
- カード・ペイメント事業は、大型提携先の提携カードの利用が好調に推移。さらに物価高の影響によりカードの利用単価が上昇し、取扱高および営業収益が増加
- ファイナンス事業は、各種施策の実行により住宅ローン保証や銀行個人ローン保証が好調に推移し、取扱高および営業収益が増加

海外事業

- カンボジアやフィリピンで営業エリアを拡大し、加盟店開拓の強化により取扱高および営業収益が増加

ジャックスの

ESG

ENVIRONMENT SOCIAL GOVERNANCE

JACCSのESG活動のなかから
社会課題解決に特化した取り組みをご紹介します！



山林保全プロジェクトを始動

2023年、当社は環境保全を目的とした中長期プロジェクト「JACCSの森づくり」を開始しました。この活動は、NPO法人「森のライフスタイル研究所」と協働し、当社にゆかりのある北海道で、森林の回復と再生を促す山林活動を5年間行うプロジェクトです。

2023年10月に実施した1回目の活動では、神居尻山の裾野に500本の植樹を行いました。

「古着deワクチン」を支援

2023年12月、当社は日本リユースシステム株式会社を通じて、開発途上国にポリオワクチンを寄付する「古着deワクチン」活動を行いました。この活動では、国内で回収した古着を、カンボジアなどで販売して現地の雇用を創出し、その利益を開発途上国の子どものポリオワクチン接種に充てています。当社グループでは133拠点で回収を実施し、合計175袋の古着が集まりました。これは875人分のワクチンに相当します。この活動は全役職員が改めてSDGsを意識する機会となりました。



こども食堂への支援を開始

当社は、2023年から半年に1度、2年間にわたり「こども食堂」への支援を行います。こども食堂は、食事の提供だけでなく、子どもたちの居場所や交流の創出、さらに学習面のサポートも行っています。2023年度の活動では、当社グループの拠点が全国にあることを活かし、84のこども食堂に役職員が直接寄贈品を届けました。

プロ野球の試合に小児がん患者や 児童養護施設の子どもたちを招待

当社は、2023年9月に北海道日本ハムファイターズ主催試合に、小児がん患者とそのご家族、道内の児童養護施設の子どもたち総勢85名を招待しました。5回目となる今回は、初めて北海道日本ハムファイターズの本拠地「ES CON FIELD HOKKAIDO」での開催となりました。当社社員とその家族10名がボランティアとして招待者をサポートするなど交流を深めました。



「健康経営銘柄」に初選定、 「健康経営優良法人～ホワイト500～」に 7年連続で認定

2024年3月、当社は経済産業省と東京証券取引所が共同で主催する「健康経営銘柄」に初めて選定されました。健康経営銘柄は、従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組む上場企業が選定されます。また当社は「健康経営優良法人～ホワイト500～」にも7年連続で認定されました。今後も、従業員一人ひとりの健康を企業活動の礎として、健康経営のさらなる推進とウェルビーイングの実現を目指していきます。



会社概要/株主の状況

会社概要 (2024年3月31日現在)

商号	株式会社ジャックス
設立年月日	1954年6月29日
資本金	161億3,818万円
本店所在地	北海道函館市若松町2番5号
本部所在地	東京都渋谷区恵比寿4丁目1番18号 恵比寿ネオナート
従業員数	2,695名

連結子会社 (2024年3月31日現在)

- ジャックスリース(株)**
事業内容：リース
- ジャックス・トータル・サービス(株)**
事業内容：損害保険・生命保険の保険代理店
- ジャックス債権回収サービス(株)**
事業内容：「債権管理回収業に関する特別処置法(サービサー法)」に基づくサービサー

JACCS International Vietnam Finance Co., Ltd.

事業内容：クレジット、クレジットカード

PT JACCS MITRA PINASTHIKA MUSTIKA FINANCE INDONESIA

事業内容：クレジット

JACCS MICROFINANCE (CAMBODIA) PLC.

事業内容：クレジット

JACCS FINANCE PHILIPPINES CORPORATION

事業内容：クレジット

株式分布状況 (2024年3月31日現在)



(注) 個人・その他には自己株式362千株(1.04%)が含まれております。

取締役・監査役 (2024年6月27日現在)

取締役会長(代表取締役) CEO 山崎 徹	取締役(社外) 鈴木 政士
取締役社長(代表取締役) COO 村上 亮	取締役(社外) 岡田 恭子
取締役専務執行役員 CFO 齊藤 隆司	取締役(社外) 三瓶 博二
取締役専務執行役員 大島 健一	取締役(社外) 下森 右子
取締役常務執行役員 小林 一郎	常勤監査役 奥本 泰之
取締役常務執行役員 未弘 昭仁	常勤監査役 阿保 敬吾
取締役常務執行役員 瀬川 和彦	監査役(社外) 小町谷 悠介
	監査役(社外) 小野 英樹

株式の状況 (2024年3月31日現在)

発行可能株式総数	78,910,000株	単元株式数	100株
発行済株式総数	35,079,161株	株主数	49,582名

大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社三菱UFJ銀行	7,015	20.20
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,647	7.62
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,629	7.57
ジャックス共栄会	1,646	4.74
第一生命保険株式会社	1,359	3.91
明治安田生命保険相互会社	1,275	3.67
ジャックス職員持株会	937	2.69
RE FUND 107 - CLIENT AC	600	1.72
日本生命保険相互会社	588	1.69
三菱UFJ信託銀行株式会社	564	1.62

(注) 1. 持株比率は、自己株式(362千株)を控除して計算しております。
2. 持株数および持株比率は単位未満を切り捨てて表示しております。

株主様アンケートのお願い

当社は、株主の皆様からの貴重なご意見・ご要望を、今後の経営とSR活動の参考とさせていただきたいと考えております。つきましては、同封のアンケートハガキまたは下記アンケートサイトにアクセスいただき、アンケートにご協力をお願いいたします。本アンケートは、すべての株主の皆様を対象としております。より多くの皆様にご協力を賜りたくお願い申し上げます。

アンケート期間 2024年 6月 28日 ~ 2024年 7月 27日

アンケートサイトへのアクセス方法

下記URLまたは右記QRコードからアンケートサイトへアクセスしてください。

<https://www.net-research.jp/1227881/>



QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

第93期定時株主総会のご報告

2024年6月27日開催の第93期定時株主総会の下記の議案につきましては、すべて原案通り承認可決されました。

第1号議案 剰余金の処分の件

第2号議案 取締役11名選任の件

第3号議案 監査役2名選任の件

詳細は、当社ホームページよりご確認ください。



● 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
株主確定基準日	期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料) (郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により当社ホームページ (https://www.jaccs.co.jp/)に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

- 1.株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

Cover Story



創立70周年を記念し、JACCSの歴史を彩る写真を映画のフィルム風にデザイン化しました。「信用」と「信頼」を第一に、「夢のある未来」「豊かな社会」の実現のため、今後もお客様・加盟店様に寄り添いながら商品・サービスを展開してまいります。

株式会社ジャックス

本部 〒150-8932 東京都渋谷区恵比寿4丁目1番18号 恵比寿ネオナート
TEL 03-5448-1311 (代)

当社ホームページをご覧ください。 <https://www.jaccs.co.jp/>

**UD
FONT** 見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

